



2023年10月31日

各位

会社名 株式会社ジェイック

代表者名 代表取締役

佐藤 剛志

(コード番号:7073 東証グロース)

問合せ先 取締役経営企画本部長

谷中 拓生

(TEL. 03-5282-7608)

連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2023年9月14日に公表いたしました「2024年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして、2024年1月期連結業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、本日開催の取締役会において、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 連結業績予想について

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年2月1日～2024年1月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年9月14日発表)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円銭 未定
今回修正予想(B)	3,695	43	34	△12	△13.62
増減額(B-A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
(参考)前期連結実績 (2023年1月期)	3,206	214	224	140	155.07

(参考)EBITDAは173百万円と予想しております

2. 公表の理由

2023年9月14日に開示いたしました「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において記載いたしましたとおり、2024年1月期第2四半期連結累計期間の売上高は1,822百万円(前年同期比19.1%増)となったものの、カレッジ事業や新卒事業においては採用市場の売手市場化が進む中で求職者の獲得競争の激化が主たる要因となり、通期の業績予想に対する進捗率は47.0%に留まり、計画していた売上高を下回る結果となる一方、それぞれ2022年8月1日付、2022年9月27日付で株式取得し連結子会社となった株式会社Kakedas、株式会社キャンパスサポート及び株式会社アワードの販売費及び一般管理費を取り込んだことに加え、売手市場化が進む中での求職者の集客コストの増加、事業拡大に向けた人員増とベースアップによる人件費の増加等を要因として、通期の業績予想における販売費及び一般管理費はほぼ計画通りに進捗いたしました。売上高が想定を下回る水準となったことで、販売費及び一般管理費の増加を吸収することができず、営業利益は22百万円(前年同期比86.0%減)、経常利益は21百万円(前年同期比86.9%減)、親会社株主に帰属する純利益は1百万円(前年同期比98.9%減)と大幅な減益となりました。

その結果、2023年3月15日に公表いたしました2024年1月期の通期連結業績予想の未達を想定するものの、大学生協事業連合と協力しての大学4年生の就職支援等、当初の業績予想策定時に見込んでいなかった取り組みで生じる売上高等については、新たな取り組みでもあるため、業績影響をどの程度通期業績予想に反映することができるのかについて、一定の蓋然性を担保した合理的な算定に基づく予測及び予想に時間を要する状況であつていたため、2024年1月期の通期連結業績予想を未定と公表しております。

大学生協事業連合と協力しての大学4年生の就職支援について、当第3四半期連結会計期間において企業と学生のマッチングイベントを複数回開催してきたことにより、面接からの内定承諾率や面接から内定承諾にかかる期間等、合理的な算定に基づく予測に要するデータを得られたことから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて2024年1月期の通期連結業績予想を算出いたしましたので公表いたします。

当社グループの売上高は、3,695百万円(前期比15.2%増)を見込んでおり、当初業績予想に対する進捗率は95.3%に留まる予測をしております。当社グループはカレッジ事業の単一セグメントではありますが、主要なサービスの構成によってカレッジ事業、新卒事業、教育研修事業その他に分けております。

カレッジ事業の売上高は、採用市場の売手市場化が進む中で求職者の獲得に対する施策に取り組んでいるものの、現段階で大きな改善に至らず、第2四半期連結累計期間と同様に前期比横ばいとなる1,511百万円(前期比0.3%減)を見込んでおり、当初業績予想に対する進捗率は88.1%に留まる予測をしております。

新卒事業の売上高は、2022年9月27日付で株式取得し連結子会社となった株式会社キャンパスサポートの売上高を取り込んだことが大きく寄与し、1,456百万円(前期比45.1%増)を見込んでいるものの、新卒事業におけるメインサービス「新卒カレッジ®」の売上高から当初業績予想では見込んでいなかった大学生協事業連合と協力しての大学4年生の就職支援による売上高を除いた金額は、新卒の就職活動の売手市場化によって学生の個人情報取得数が計画値を大きく下回ったことを要因として前期比では5.5%増、当初業績予想に対する進捗率は91.2%に留まる予測をしております。当連結会計年度における大学生協事業連合との取り組みはトライアルを含むものであり、翌期以降は関係を強化し、さらなる事業拡大に努めてまいります。

教育研修事業その他の売上高は、727百万円(前期比5.9%増)を見込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行するなどして研修のリアル回帰が進む中、オンラインを中心に提供していた継続型教育サービス「リーダーカレッジ」の集客が計画を大きく割り込んだことを主要因として、当初業績予想に対する進捗率は97.7%に留まる予測をしております。

売上原価は、2022年9月27日付で株式取得し連結子会社となった株式会社キャンパスサポートにおいて広告制作費等が売上原価として生じることから、371百万円(前期比81.1%)を見込んでおります。大学生協事業連合と協力しての大学4年生の就職支援による売上高において売上原価が生じることから、当初業績予想に対する進捗率は97.1%に達する予測をしております。売上高総利益率は90.0%と当初の業績予想とほぼ同水準でございます。

販売費及び一般管理費は、3,280百万円(前期比17.7%増)を見込んでおり、前述した販管費増の要因に加えて、広島支店及び九州支店の縮小や撤退に伴う固定資産や資産除去債務の加速償却などの要因も加わったことで当初業績予想に対する進捗率は102.6%と当初計画を上回る予測をしております。

その結果、営業利益は43百万円(前期比79.8%減)、経常利益は34百万円(前期比84.4%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は12百万円(前期は140百万円の利益)を見込んでおります。

II. 配当予想について

1. 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円銭	円銭 未定	円銭 未定
今回予想		5.00	5.00
今期実績	0.00		
前期実績 (2023年1月期)	0.00	47.00	47.00

2. 公表の理由

当社は、成長投資による業績拡大を目指すとともに、株主の皆様への利益還元の充実を経営の重要課題のひとつとして位置づけており、株主の皆様に対する配当につきましては、安定的な配当を重視しつつ、親会社株主に帰属する当期純利益を基準とした年間配当性向25～35%程度とすることを基本方針としております。

「I. 連結業績予想について」に記載のとおり、2024年1月期の連結業績予想における親会社株主に帰属する当期純損失の予想値は12百万円と損失を見込んでいるものの、当社単体の当期純利益では黒字を確保できる見通しであり、連結EBITDAは173百万円程度確保できる見通しで営業キャッシュフローは黒字を確保できることから、その一部を株主の皆様への還元に充てさせていただき、2024年1月期の期末配当予想につきましては、1株につき5円とさせていただきます。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上